

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

486-536

事務事業名	地すべり防止施設等管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	建設管理課		包含する細々目	1	6	1	7	10	3	801
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	地すべり防止事業実施地域	地区数(地区)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			7				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	定期的な巡視および管理活動の実施による災害の未然防止	状況報告回数(回) 数値は各地区毎の回数	18目標	最終目標			
			18実績	11	19目標	12	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標	最終目標			
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	地すべり防止施設等の維持管理、監視をする。<参考>細々目名:地すべり防止施設管理費	地すべり防止施設等の維持管理、監視業務委託 巡視回数は1ヶ月1回以上、年間11回以上巡視を行い、巡視員は毎月巡視の報告、及び排水路の清掃などの作業を行っている。	地区数 地区巡視回数	7 年11回以上
	18年度の実績			
	19年度計画	地すべり防止施設等の維持管理、監視業務委託 巡視回数は1ヶ月1回以上、年間12回以上巡視を行い、巡視員は毎月巡視の報告、及び排水路の清掃などの作業を行っている。	地区数 地区巡視回数	7 年12回以上

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金	801	801
	起債		
	その他		
一般財源	0	0	
事業費計(A)	801	801	
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	944	944

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する	市民が災害に備えている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
県営地すべり対策事業の終了に伴う、県から市への監理委託	地すべり対策事業の終了に伴い受託箇所が増加している。	なし

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		有効性 評価	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)			有効性 評価	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		有効性 評価		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？		(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	